

「からり」諏訪塾 ⑤

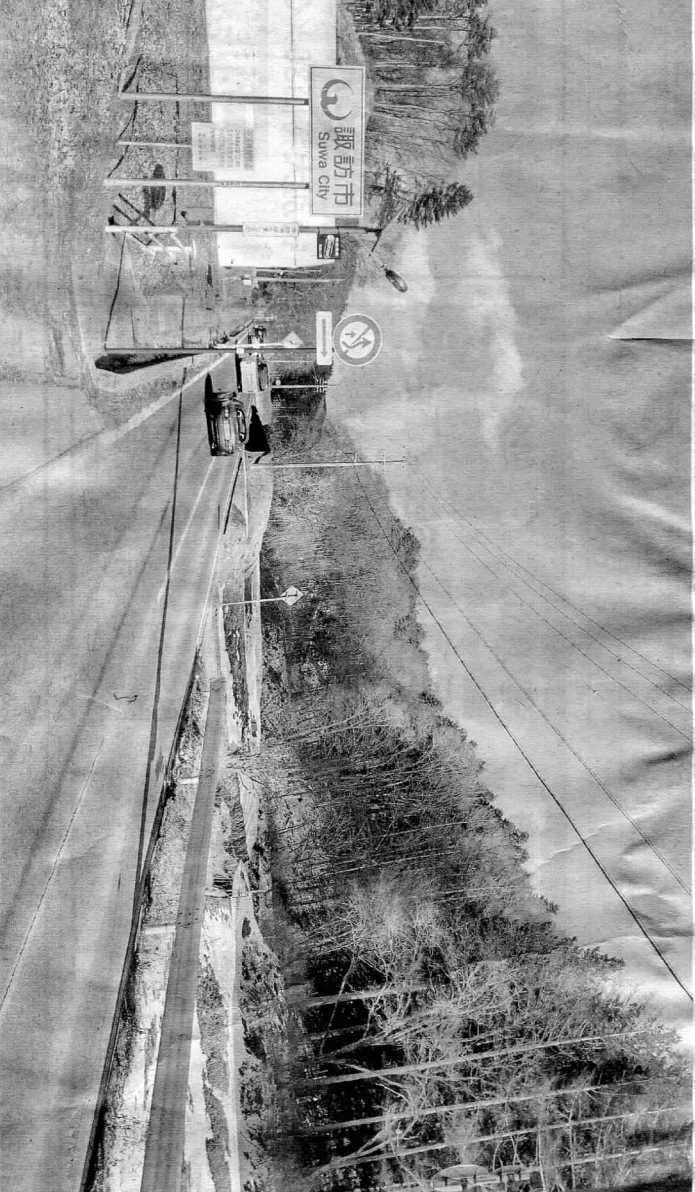
殿様が思いついた妙案

諏訪市豊田地区から辰野町へ続く有賀峠(真道5号線)は諏訪盆地から伊那方面へ抜ける道として旅人や商人などが行き交う古くからの道でもある。

この道にはこんな話が残されている。諏訪の殿様と伊那の殿様が話し合い「西方が登って出会うた所を境にしよう」と決めたそう

だ。諏訪の殿様は朝早く起き、せた山裾一帯を諏訪藩の領地に広

めた。諏訪市街方面から有賀峠の頂上まで上り、そこから左側へ進むと豊田地区から湖南地区へ至る道が続く。ところが、豊田地区視石は江戸時代前期の新田開発の時、村の西側に大きな石が有り道に突き出ていてこれを取り除いたことから当時の文書には「除石新田」



有賀峠頂上から伊那市側に下がった場所にある諏訪市・伊那市境

げた。



「からり」諏訪塾の冊子は諏訪市観光案内所(JR上諏訪駅内)・れすとらん割烹いずみ屋・書店「言事堂」(諏訪市諏訪)・すわ大昔情報センター(諏訪市未広)・(諏訪市博物館内)1月末までは休館)で販売中です。

と記されている。＝ 随時掲載詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局(電話070・8323・2107)へ。

今回の筆者



涌井みち子さん

立川流建築彫刻研究者でスホイ・インスタグラマーとしても活動しています